

婦人のつばさ ヨーロッパ諸国を訪問

10月17日から13日間、熊本県婦人海外派遣団「婦人のつばさ」の一行17名（団長、板倉アキノさん）がヨーロッパ諸国を訪問。団員は、県内婦人団体のリーダー、学識経験者から構成され、男女平等の先進国といわれるスウェーデン、西ドイツ、スイス、フランスの政府機関、婦人団体等を視察、婦人問題についての研修を行った。



「健康展」開催される

健康づくりの一環として毎年実施されている健康展が今年も10月12日から17日の6日間鶴屋デパート6階催場で開催された。体位、体力の診断相談コーナーをはじめ、コンピューター栄養診断、米料理、郷土食、集団給食、今日の献立の展示など興味ある内容に期間中約1万人の方々が会場を訪れた。

交通死亡事故多発警報発令

緊急事態

10月20日現在県内の交通事故死亡者は124人に達し、57年同時期の110人を大幅に越えた。このため10月16日から20日間県下に交通死亡事故多発警報が発令され、10月21日には県内の道路22か所において、通行車両にシートベルト着用、交通事故防止が呼びかけられた。（写真の熊本市体育館前では副知事、県警交通部長が先頭に立ち、交通事故防止を呼びかけた。）



細川知事、日米知事会議 出席のため渡米

細川知事が10月12日から10月29日までの日程で渡米。昨年7月友好提携したモンタナ州を訪問し、ついで日米知事会議に日本側代表として4知事と共に出席、両国の関心事である教育問題について討議した。

この間、県政最重点課題の1つである外資系企業誘致のため米企業の視察も行った。



山下選手も出席して 東京熊本県人会30周年記念式典

東京熊本県人会創立30周年を祝う在京県人会の集いが、10月25日帝国ホテルで開かれた。会場には柔道の山下選手をはじめ各界から約700人の県出身者が出席し、山鹿灯ろう踊り、県出身歌手の歌、郷土物産の即売会などにぎやかな催しの中にもふるさとの絆を確かめあっていた。



全国から約800名が参加 精機学会秋季大会開かる

10月14日から17日まで熊本大学工学部で精機学会創立50周年記念事業＝精機学会秋季大会が開催された。主催の熊本大学には全国から約800名の研究者が参加し、研究発表、シンポジウムに活発な討論がなされた。（写真は県立劇場で行われた記念公開特別講演会）

